

深刻化する建設産業の人手不足とゼネコンが直面する“BIM疲れ”

建設・BIM人材に特化した、派遣・紹介事業 BA-plus を徹底解剖【前編】

～これから迎える繁忙期を乗り切る！建設産業の持続的発展に向けた人材育成とは？～

建設・BIM人材に特化した派遣・紹介等を主要事業とする BA-plus (ビーエープラス) 株式会社は、2024年6月中旬に建設・BIMⁱ人材の派遣・紹介事業を本格開始しています。

2025年には市場規模が73兆円ⁱⁱと増え続ける一方、深刻化する**建設産業の人手不足**に加え、ゼネコンをはじめとした建設関連各社ではBIM人材がいない・育成に苦戦しているなど“**BIM疲れ**”を誘発するような**事象**も増えてきています。

また、建設産業は、12～3月末に工事繁忙期を迎えると同時に、4月の着工に向けて、10月下旬から人材確保の動きが活発となると言われています。

そこで、BA-plusとして今の建設産業をどう見ているか？課題に対しどう解決し、建設DXⁱⁱⁱを通じ社会にどう貢献をしていくか、前編と後編の2回に分けてご紹介します。

本号では、建設産業の今についての見解と人手不足でお困りの建設関連企業に対し、「建設産業の持続的発展」に向けたBA-plus独自の取り組みについてお届けします。



建設・BIM人材に特化した、派遣・紹介事業「BA-plus」

代表取締役社長に、BA-plusのサービスについてインタビューしました。

– BA-plus はどんな会社ですか？

塩谷：私たち BA-plus 株式会社は、建設に特化した人材派遣業を中心に置き、**企業に対して建設DX人材の育成と、その人材派遣と紹介を行う企業**として誕生しました。

– 今の建設産業をどう見えていますか？

塩谷：人手不足が深刻化しています。いわゆる2024年問題^{iv}と言われる働き方改革、2025年問題と言われる団塊世代が75歳以上を迎えることでの労働力不足や、適正工期指針によって人手不足が加速している状況です。一方で、2024年以降東京都では超高層ビルが建設中・計画中であり、全国的には万博・リニア・IR・再開発・老朽化ビル対策等々、建設産業の仕事は減りません。労働環境の改善ニーズ、必要な仕事は増える一方なのに、**なり手が減っている状況**です。



■代表取締役社長の塩谷元宏(しおたに もとひろ)
【経歴】建設業界に32年間在籍したのち建設業界向け人材サービス事業を経て2023年より野原グループにてBIM人材を核とした建設業界向け人材サービス「BA-plus 株式会社」を設立。

-BA-plusが考える、ゼネコンの困りごとは何でしょうか？

塩谷：先ほど申し上げたような人手不足に加え、BIMを扱える人材も増えてきてはいるもののまだまだ足りず、各社でいわゆる“**BIM 疲れ**”の現象も起こっています。

省力化、省人化のためにも「建設DX」の推進が急務であり、私どもがお手伝いできればと思っています。

-建設・BIM人材に特化した、派遣・紹介事業は、ゼネコンにとってどんなメリットがありますか？

塩谷：BA-plusは、ゼネコンや建設関連会社、設計事務所などへの人材派遣業が事業の柱になっています。**BIM人材への育成メニューが手厚く、未経験者の戦力化を含め多様なスキルの人材を積極採用し派遣・紹介できる点が強み**です。



設計



CAD・BIMオペレーター



施工管理



積算・見積



建設営業



建設事務

今後迎える建設工事の繁忙期を見据え、建築の学部や就業先でBIMの職務歴があり、派遣・紹介先企業で**即戦力**となりえる外国籍人材の確保も強化し、**建築工事の元請企業（ゼネコン）のBIM人材のすそ野拡大**にも寄与できるかと思えます。

■BA-plusの主な派遣・紹介職種：設計、CAD・BIMオペレーター、施工管理、積算・見積、建設営業、建設事務

-なぜBA-plusは、建設の専門家、スペシャリストが多数在籍しているのですか？

塩谷：BA-plusは、建設事業を網羅しBIM事業にも早くから注力してきた野原グループ内企業です。そのような背景から、派遣・紹介後も入念なフォローにより、受け入れ企業と求職者が求める「BIMスキル」の向上にも貢献できると考えています。

-BA-plusでは女性も活躍されていますが、どのような業務を担当されているのでしょうか？

塩谷：はい、坂川というスタッフが在籍しています。人材派遣および人材紹介の営業、就業スタッフさんのフォロー、外国籍人材の入国フォローを担当しています。派遣・紹介後も入念なフォローを実施し、受け入れ企業と求職者が求める「BIMスキル」を向上する事で建設産業のBIM活性化を促進していきたいと思っています。



-坂川さんに質問です。BA-plusの営業担当として大事にしている事は何でしょうか？

坂川：大事にしていることは、迅速かつ丁寧に対応をすることです。メールのレスポンスが早いの方が印象に残りやすいし、その後求人空き枠が出た時にも、迅速に人材を提案してくれる会社に頼んでくると思います。そのため常日頃から迅速に対応することで取引先からも就業スタッフさんからも信頼を得られるように努めています。

■坂川由梨香（さかがわ ゆりか）
【経歴】人材業界で営業（業務）を経て、2024年6月に中途入社。現在はBA-plusで人材派遣および人材紹介の営業を担当。

-業務をする中で、難しいと感じる時はありますか？

坂川：企業と求職者の間に入る役割なので、両者の要望の着地点を考えるのが一番難しいです。また外国籍の方も採用しているので、言葉の壁や文化の違いにも戸惑うことはありますが、最近ではそれが楽しさとして捉えられるようになりました。

-逆に仕事をしていてやりがいや嬉しいと感じる時はいつでしょうか？

坂川：新規で開拓した企業様から採用をいただいたり、勤務しているスタッフさんが楽しそうに働いていた姿を見ると頑張ってたよかったです。

-BA-plusとして今後のサービス展開の予定は？

塩谷：将来的には、建設サプライチェーンの効率化を目指すソリューション「BuildApp」の担い手であるBIMオペレーターの育成や紹介などに業容を拡大していく構えです。また、人材育成では専門学校のカリキュラムに参画し、若手や新たな外国人人材の育成にもつなげていきたい。あるいは障がい者雇用の新たな道筋を作りたいとも考えています。

-最後に、人材不足でお困りの建設産業企業様へメッセージをお願いします。

塩谷：建設産業においては技能者の高齢化、深刻な人材不足、労働時間、労働環境などの改善のために「建設DX」を推進することが急務とされています。親会社である野原グループでは早い時期から「建築BIM」に注目、建設産業を変革するフロントランナーとして、BIMデータをハブとした建設サプライチェーンの効率化を目指すソリューション「BuildApp」を展開しています。DXによる転換期を迎えている建設産業において、BIMオペレーターをはじめとするDX人材は現在とても貴重な存在です。

私たちBA-plusは、BuildAppソリューションにおける建設DX人材の育成のために誕生しました。建設産業でBIMに特化した人材派遣・紹介は、BA-plusにお任せください。

-以上インタビュー終了-

BA-plusの建設・BIM人材の派遣・紹介について

BA-plus株式会社は、BIMに特化した優れたスキルを持つ人材を建設関連企業に派遣・紹介することで、建設産業全体のDX（BIM促進を含む）、技術力向上と効率化を促進します。

親会社である野原グループ株式会社の「BuildApp」で施工の生産性向上を、「BA-plus」で建設産業の人手不足・BIM人材の不足の解決を目指し、総合的に「建設産業の持続的発展」に貢献して参ります。

【主な業種】建設、土木、設備（空調・衛生・電気）、プラントなど

【主な職種】設計、CAD・BIMオペレーター、施工管理、積算・見積、建設営業、建設事務

【WEB】<https://ba-plus.co.jp>

<建設・BIM人材の派遣・紹介（BA-plus株式会社）に関するお客様からのお問合せ先>

BA-plus株式会社

TEL：0120-82-9216 平日9:00～19:00（※土日祝はお問い合わせフォームよりご連絡ください）

お問合せフォーム：<https://ba-plus.co.jp/contactus/>

BuildApp

建設プロセスに、革新と未来を。

「BuildApp（ビルドアップ）」は、設計事務所やゼネコンが作成した BIM 設計データをより詳細なデータに置き換え、各建設工程に必要なデータとして利活用し建設工程全体の生産性向上を実現するクラウドサービスです。設計積算から製造・流通・施工管理・維持管理までを BIM でつなぐ複数のサービスにより、各プレイヤーに合わせたサービスを提供します。そして、設計・施工の手間・手戻りをなくし、製造・流通を最適化して、コスト削減と廃棄物・CO2 削減に貢献します。

「BuildApp」は、建設サプライチェーン^vの抜本的な効率化と未来へ繋がる成長をサポートし、皆さまと一緒に建設業界をアップデートしていきます。



私たちが BuildApp で実現したいこと

- ・ BIM 起点のデータで建設関係者を繋いで連携を生む
- ・ 工程の可視化や業務の自動化により業界内の無駄を解消する
- ・ DX^{vi}による生産性向上や廃材・CO2 排出量の削減を目指す建設企業とともに、サプライチェーン^{vii}を変革し、「建設DXで、社会を変えていく」

<お問い合わせ先>

BuildApp WEB	https://build-app.jp/		
お問い合わせ先	フォーム入力	https://build-app.jp/contact/	電話 03-4535-1158

野原グループ株式会社について

野原グループ株式会社を中心とする野原グループ各社は、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のミッションのもと、変わる建設業界のフロントランナーとしてステークホルダーの皆さまとともに、サプライチェーンの変革と統合を推し進めます。社会を支える建設産業の一員である私どもが、業界から排出される廃材量や CO2 の削減、生産性向上による働き方改革を実現し、サステナブルに成長していく未来の実現を目指します。

<https://nohara-inc.co.jp>

【本件に関する報道関係者からの問合せ先】

野原グループ株式会社

マーケティング部 ブランドコミュニケーション課（担当：森田・齋藤・萩谷）

E-Mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱ BIM（ビム）とは、BIMとは、Building Information Modeling（ビルディング インフォメーション モデリング）の略称です。コンピュータ上に現実と同じ建物の立体モデル（BIM モデル）を再現して、よりよい建物づくりに活用していく仕組みです。

ⁱⁱ 参照：一般財団法人 建設経済研究所『建設経済モデルによる建設投資の見通し（2024年8月）』

ⁱⁱⁱ DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、経済産業省の定義によれば「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」を指し、単なるデジタル活用とは区別されています。

^{iv} 2024年問題とは、2019年4月に施行された「働き方改革関連法」が、建設業界については5年間の猶予措置がとられていた結果、2024年3月末に期限を迎える問題のことです。

^v サプライチェーンとは、商品や製品が消費者の手元に届くまでの、調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった一連の流れをいいます。